

ふれあい情報

2026 年 7 月 29 日 (水) 第 412 号

■発行 日本退職者連合

■発行人 宇田川 浩一

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合
HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

日本退職者連合第30回定期総会開催



総会は、司会者の畠山常任幹事の開会あいさつで始まり、初めに、阿部元顧問をはじめ、この一年間で亡くなられた会員のご冥福を祈り、黙とうを行いました。



畠山常任幹事

日本退職者連合は第30回定期総会を、7月15日、連合会館で代議員・傍聴者など、約200名を参集し開催しました。総会はこの1年間の活動を振り返るとともに、組織強化・拡大をはじめとする重要課題の取り組みなど2026年度の運動方針、2026年度政策・制度要求、組織拡大第3期アクションプラン等を満場一致で確認し、新年度がスタートしました。

日本退職者連合の活動に積極的に取り組まれ、活動されていますことに感謝を申し上げます。
○私たちは世界中の平和を願って運動を進めてき



野田会長

野田会長あいさつ

続いて、議長団に、徳茂代議員(自治退)・花村代議員(農水退)の2名を選出、議長あいさつの後、総会各種委員を任命し、野田会長あいさつ、神保連合事務局長あいさつがありました。



(左) 徳茂代議員・花村代議員

だが、ウクライナ、ガザ、イランでの戦闘は終結の気配もなく、マスコミは報道するだけであり、単なる情報の垂れ流しは止める時である。
政府は「防衛費増大」「非核三原則見直し」「憲法改正」など過度な現状変更を進めているが、私たちは、「核兵器を持たず・作らず・持ち込ませず」との「非核三原則」を堅持する。「憲法改正」についても、憲法を改正するのではなく、憲法を守る社会をつくること、これが国会議員の仕事である。定数削減は、今国会では見送りになったが、選挙制度は民主主義の根幹であり、このような状況にも関わらず、高市総理の支持率が下らないこと

とを不思議に思う。
○物価や社会保障の分野で私たちの負担増が相次いでいる。次の世代が住みやすい社会を、持続可能な社会保障を考えており、世代間対立だけは避けたいと考える。
○今回の組織実態調査で3年間で約6万人の会員減少となった。産別・地方退連での組織拡大をお願いする。また、退連では「政策・制度要求」を策定し、関係府省・組織内議員への要請を行っている。地方退連は2025年度も地域の課題を取り上げ、各知事などに要請している。
○「人生は後半が面白い」。退職して残りの人生、社会に参加・参画する、政治にものを言う、組織として挑戦できる、こんな楽しい生き方はないと思う。退職者連合設立40年に向けて、次の世代が生きやすいよう、平和な社会になるように、「ちいさなことから始める勇氣、大河にする根気」であることを申し上げる。

連合 神保事務局長

あいさつ

連合への
ご理解とご
協力、ご指
導ありがとうございます。
うございます。



神保事務局長

○26春闘は、基本方針の5%以上の賃上げを3年連続で達成できたが生活の豊かさを実感するには至っていない。最賃交渉の環境整備をさらに進め、全体の賃上げにつなげ、取り組みを強化していく。

○今年2月の衆院選挙は、突然の解散で短期決戦となった。新たな政党立ち上り、連合推薦議員の多くが

～祝電・メッセージ～

○中道改革連合

○立憲民主党

○国民民主党

○社会民主党

○公明党

◇中央労福協

◇労金協会

◇こくみん共済coop

*国会会期末直前のため、
友好政党からはメッセージ
を頂きました。

議席を失い、連合フォーラム議員も大幅に減少した。今の国会は、数の力による押切型の政治で、我々が望む真の民主主義からほど遠い。もう一回力を入れ直してしっかりとした体制を決めなければならぬ。来年度の統一地方選挙、その先の参議院選挙に向けて、改めて強化をしていく。

○連合の第1次男女平等参画推進計画決定から35年。制度など前進もあるが課題が多いと認識している。「第6次男女共同参画基本計画」には旧姓使用拡大の法制度が持ち込まれたが、議論の進め方を見てもプロセスも含めてしっかりと対応していかなければいけない。引き続き男

満場一致で承認される

女平等参画社会の実現の
取り組みを進める。

資格審査

委員長報告

により、総
会成立宣言

を行い、

一般経過報告、会計決算報告、監査報告が行われ、質疑の後、確認されました。

続いて、第1号議案・2026年度運動方針(案) 第2号議案・2026年度予算(案)、

第3号議案・2026年度政策・制度要求(案)、第4号議

案・第2次組織拡大プラン第3期

アクションプラン(案)

の提案があ

り、質疑の後、満場一致で承認

されました。



右から大内・岩崎・高橋副事務局長



宇田川事務局長

代議員からの発言主旨

一安 代議員(退女教)

選択的夫婦別姓の取り組みにつ

いては、28

年ぶりに衆院法務委員会

で審議が行われ、私たちは

多くの署名を集め、今度こそはと思っていたが、衆院

解散で廃案となり納得できない。日本は唯一の夫婦

同姓制度であり、「選択的夫婦別姓制度」を絶対に進

めてほしい。今後の方針を伺いたい。

内海代議員(日退教)

「女性躍進・男女共同参画重点

方針2026」で

は、高市総理による、議論経過にない案を出してく

るという独裁者の行動に我慢がならない。男女共同

参画基本法が成立し30年近く、計画も第6次に亘る

が、今の状況では漫然として進めているとしか思えない。自民党の意図は、家



藤川代議員(福岡退連)

九州ブロックは、沖縄退連と連携し、

沖縄知事選は現職「玉城デニー」勝利に

向けて共に戦う。各県の皆さんにもご理解と協力を、

退職者連合にもご指導をお願いする。非常に厳しい選挙戦となっている。理由

は、辺野古の船転覆事故を、自民・維新が中心になり玉

城知事との関係に繋げているからだ。なぜ沖縄で辺

野古基地反対闘争が起きているのか、きれいな海を埋め立てるといふ環境破

壊もあるが、米軍基地を減らしてもらいたいのが原点にある。自民党推薦候補

が勝つ様であれば、まさに高市政権が押し進める軍

事増強を沖縄に更に負担

族は助け合わなくてはならないという憲法に変えていこうとする方向性と考えられる。私たちの組織はどこに重点を置いていくか、取り組みを共有して

いただきたい。



◇メインスローガン

紛争の即時終結を
平和で安心できる世界を
若者へつなごう

◇サブスローガン

- ・組織強化・拡大の取り組みで、
政策・制度要求を実現しよう！
- ・憲法が保障する平和的生存権を
不断の努力で未来につなごう！
- ・全世界が安心できる持続可能な
社会保障を構築しよう！
- ・誰もが個人として尊重される
ジェンダー平等社会をめざそう！

を求めることは明らかであり、負けられない。沖縄の皆さん方との連帯を訴える。

二牟礼代議員(鹿児島退連)

①連合が

支援する政党がこのままの状況では地方選挙、総選挙、参院選挙は厳しいものがあり、私も自身としても力が入らない。中道、立憲、公明の3党に加えて他の野党とも結集を目ざし、退職者連合として、戦いを応援するという方針を反映させることも重要ではないか。



②「皇室典範」の改正について、現在の改正案は国民の総意とはなっていない。退職者連合として反対の行動を起こしてもらいたい。

川越代議員(徳島退連)

①政策・

制度要求は継続課題も含めて、各自治体に要請しており、参加者の意識改革にもつながり、組織拡大にも活用可能になるよう、積極的に取り組む。



②大規模災害の対応要望として、防災庁が設置されることを評価し、今後、



会場全体で「団結ガンバロー」

防災・減災の政策・制度対応をどこにどの様に要請するのか、指導をお願いする。徳島の状況として防災・減災あるいは広報を各自治体に求めている。各地の災害を見ていると、官・民の連携がうまくいっていない事が見受けられるので、その対応なども併せて提案するよう要望する。



野田会長の先唱で「団結ガンバロー」

総会後の主な活動予定

- ・7月27日：2026年度政策・制度要求 要請行動
農林水産省・国土交通省・財務省・厚生労働省
- ・8月17～19日：2026年度政策・制度要求 要請行動
中道改革連合・立憲民主党・国民民主党・社民党・公明党
- ・8月26日：2026年度 第1回三役会、第1回幹事会
- ・9月15日：2026全国高齢者集会
- ・9月16日：2026年地方代表者会議

続いて、スローガンの採択、総会宣言を採択し、各種委員の解任、議長団解任あいさつの後、野田会長の先唱により、「団結ガンバロー」を会場全体で行い、総会を終了しました。

*総会資料「会長あいさつ」「議案書 第1号議案、第3号議案、第4号議案」「総会宣言」は、退職者連合ホームページでご覧ください。

*2026年組織実態調査まとめはホームページでご覧ください。



◇日本退職者連合◇

結成35周年

レセプション

日本退職者連合は、一九九一年十一月二〇日、日本高齢・退職者団体連合として結成され、今年35周年を迎えます。

35周年を記念し、7月14日に、連合本部や労働福祉協会、産別・関連退職者連合、地方退職者連合を招いてのレセプションを開催し、これまでの感謝とさらなる躍進を期しました。

併せて、結成30年から5年間の軌跡をまとめた小冊子「躍進」を作成しました。



2026 全国組織代表者会議を開催

7 月 14 日 (火) 13 時 30 分より連合会館で、産別・関連退職者連合、地方退職者連合の代表者による全国代表者会議を開催しました。

会議では、第 30 回定期総会の議案内容および当面の取り組みについて、意見交換と意思疎通を図りました。

また、会議の後半は学習会を開催し、阿部知子前衆議院議員から『内外の政治情勢について』と題した講演を受けました。

本会議は、退職者連合三役・

常任幹事、地方ブロック代表幹事が参加して開催しました。

野田会長のあいさつの後、

総会議案について、宇田川事務局長はじめ副事務局長より説明がされ、各議案について意見交換を行い、翌日の第 30 回定期総会に向けて、意思疎

通を図りました。

また、当面する取り組みや 2026 全国高齢者集会の概要について確認を行いました。

出された主な意見(概要)

- ・医療費の高額化について。退連として、関連する制度の背景などに批判や検証を行ってもらいたい。

- ・組織強化・拡大について。加入より死亡や退会者が多いのが現状。現在は 65 歳過ぎても働く人が五割を超える。名称変更など、今の時代に合わせてイメージを変えてはどうか。
- ・「皇室典範」ばかりが話題となり「選択的夫婦別姓制度」議論がどこかに行った。今後の取り組みをどうするのか。
- ・2 年後の参院選や地方選に

ついて。中道改革連合への各級議員の動向等について、どう考えているか。

- ・「認知症基本法」への政策・制度要望を具体的にどうするのか示してもらいたい。

- ・衆議院選結果に愕然とした。来年の地方選を見据え、岡山では政党等を超えて地方議員を集めたいと考えている。

- ・沖縄の新基地建設反対運動は大変厳しく、弱体化している。引き継ぎの支援をお願いする。

- ・沖縄での基地公害といわれる P F A S 汚染水の問題について原因究明の運動が必要。
- ・政権について、今の平和憲法基本的な人権など尊重する部分に手を付けようとする改憲に構えていきたい。

学習会

演題「内外の政治情勢について」

- ・崩壊する民主主義・大政翼賛化 ～今回成立した安全保障関連の問題法～
- ・今国会で成立した社会保障関連法 ～憲法 25 条に反する～

講師 阿部 知子さん (前衆議院議員・小児科医)



阿部 知子さん

学習会は、前衆議院議員の阿部知子さんより、今国会会期末の現時点で問題法案と指摘する「国旗損壊罪」「個人情報保護法」「皇室典範」「公職選挙法」「議員定数削減」「副首都圏構想法」等について、法案の目的や問題点、批判の声、懸念リスク、国会での具体的な審議状況などについて説明をいただき、認識を深めるとともに、退職者連合としての今後の取り組みなどを考える機会となりました。

また、今国会で成立した社会保障関連法の解説では、医療保険制度改革の主な改正内容や、65 歳以上の一人暮らしの者の傾向、有料老人ホーム制度の見直しをはじめ、国の高齢者政策における「介護老人保健施設(老健)」の役割の変化や、今後(2040 年)に向けた最大の論点として「在宅復帰」理念の限界や「老健」の次なるデザイン、「地域全体の役割分担」の再設計など、身近で重要な課題を解説して頂き、これからの政策・制度要求の取り組みに反映していくことを全体で確認しました。